

第58回運営小委員会 議事録

1. 開催日時：令和7年3月11日（火） 9:40～12:00
2. 開催場所：日立 GE ニュークリアエナジー株式会社 本館3階 会議室
及び Webex によるハイブリッド開催
3. 出席者：河村・藤原（電中研）、長瀬・伊藤（日立 GE）、杉野（日本原電）、室屋（阪大）、山下（東大）、高木（東芝 ESS）、大橋（オルガノ）、荘田・前田（三菱重工）、端（JAEA）
オブザーバー：實重・串本（中国電力）【敬称略、順不同】

4. 議事

(1) 前回議事録確認

コメント等は無く、承認された。

(2) 第24回全体会議資料について

第24回全体会議の資料について、各担当委員から説明があった。リモート化推進WGについては廃止とし、NPC2029の準備等に向けて新たな活動を推進していくこととなった。その他コメント等は無く承認された。

(3) 今後の定例研究会について

前田委員より今後の定例研究会について説明がなされるとともに、次回幹事会社となる中国電力殿より第59回の定例研究会の進め方について説明があった。発表は3件程度とし、6/3~5の間で日程調整することとなった。第60回以降については各社持ち回りで進められるよう、輪番表案について議論がなされた。電力各社に依頼する点に関しては電事連内で承認を得たうえで確定することとなった。テーマについては、分析技術の近況に係る内容等についての案が挙げられた。

(4) 2024年度会計報告、2025年度予算案について

伊藤委員より、会計報告と次年度予算案について説明があり、コメント等は無く承認された。

(5) 2025年度サマーセミナーについて

高木顧問より、2025年度水化学サマーセミナーの準備状況の報告があった。石巻グランドホテルにて9/16~18に開催することとし、プログラム案について

議論がなされた。損益分岐点等について検討しておくこと、懇親会費の再検討、WG メンバー増員について議論した。

(6) 水・蒸気性質シンポジウム 2025 の後援について

河村部会長より、6 月に開催予定の水・蒸気性質シンポジウム 2025 の概要の紹介があり、水化学部会として本シンポジウムを後援することが承認された。

(7) 広報担当・ホームページ管理 WG の活動状況

藤原委員より、広報担当の活動内容及び部会報の準備状況について説明があった。事故耐性燃料開発に関するワークショップの活動報告については、原稿提出の遅れが見込まれることから、「後日掲載」としておき、提出され次第掲載する方向で対応することとなった。

(8) 「1F 廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会活動報告

高木顧問より、「1F 廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会の第 2 期のとりまとめ状況及び第 3 期の計画について情報共有があった。

(9) AWC2024 報告

高木顧問より、11 月にインドにて開催された AWC2024 への参加報告があった。詳細は部会報にも掲載予定である。インド以外の参加国が少なく、ステアリングミーティングも開かれなかったため、今後の開催については未定となっている。

(10) その他

・NPC2025 についての情報共有

韓国釜山にて 9 月に開催予定の NPC2025 について、各社からの参加状況を確認した。

・持続可能な体制検討 WG（仮称）検討状況について

端委員より、持続可能な体制検討 WG（仮称）の検討状況について説明があった。運営小委員会の選挙結果を踏まえ、今後メンバー及び活動方針について部会長交えて協議のうえ進めることとした。

・ANEC 北海道大学拠点からのオンライン教材作成依頼について

端委員より、ANEC（未来社会に向けた先進的原子力教育コンソーシアム）北海道拠点からオンライン教材の作成依頼があった旨の報告があった。北海道

大学から水化学部会が委託を受ける形で進めるのか等、契約形態について確認のうえ次回以降に継続協議することとなった。

- 水化学部会賞細則の見直しについて

端委員より、受賞対象の業績に関する記載の明確化を対象とした部会賞細則の見直しについて提案があった。細則そのものの見直しではなく、採点基準を具体化する方向で対応する等の意見が出た。また、受賞理由を公開することについても議論した。これらの対応については、次期部会賞選考委員発足後に継続議論することとなった。

- 水化学部会運営小委員会細則の見直しについて

端委員より、運営小委員会委員選挙の投票方法及び運営小委員会の出席方法の見直しについて、細則見直しの提案があった。投票方法については、標準委員会の方法が参考になるとの意見があり、杉野副部長にて確認することとなった。運営小委員会への出席方法については代理出席を認める等の案について継続議論することとなった。

以 上